

「まちづくり」が楽しい「まち」に

一軒置ききのセットバックでまちはどうなる？

7月22・23日「都市計画」ワークショップが開かれ、5年生以上の10人が「だかねランド2013」のまちの計画を決めた。

事前学習 7/22

事前学習は、だかねランドのまちを計画するために必要な基礎知識を得るためにおこなっている。「だかねランド」初心者過半数を占める今回のワークショップでは、「まちを計画する」という事は、どういった事かについてまず考えた。自分の楽しみだけではいけない、つまりだかねランドに来る人たちのためにまちの計画をするのだと知る。計画するために3つのことを学ぶ。①まちの空間：

まちに建物が建つことによつて生まれる空地(建っていないところ)がどのよう機能するか。②まちの見え方：街路と建物の関係でまちがどのように見えるか。これらを見る、様々なまちの写真をみる、建物の1/50の立方体の模型で並び方をかえてC/Dカメラを使ってまち並みを見る、そして模型と同じに実際の建物を並べてどのように感じるかを体験する、という順で学んでいき、最後に現場を見

ながらだかねランドに来た人がどのように動くのか③「人の流れ」について想像して、自分たちで計画をたててみた。

都市計画 7/23



名古屋大学大学院教授 片木篤先生

都市計画WS本番には、名古屋大学の片木篤先生を迎えて、「だかねランド2013」の都市計画を決める。まず、みんなで考えたまちのプランを先生に発



都市計画WSで完成した模型

表した。それに対しての講評を受けた後、問題解決に向けて話し合う。またそれに講評を受けるといふ作業を繰り返すこと4回、今年まちのマスタープランが完成した。外のまち並みは、一軒置きにセットバックさせて変化を持たせること、また屋根は片流れで平入とするのと、ホールの位置とホールの前と銀行の前に小さな広場を設けて人が留まり易くすることなどが決まった。



1日目子どもたちで考えた案に対する片木先生のコメント

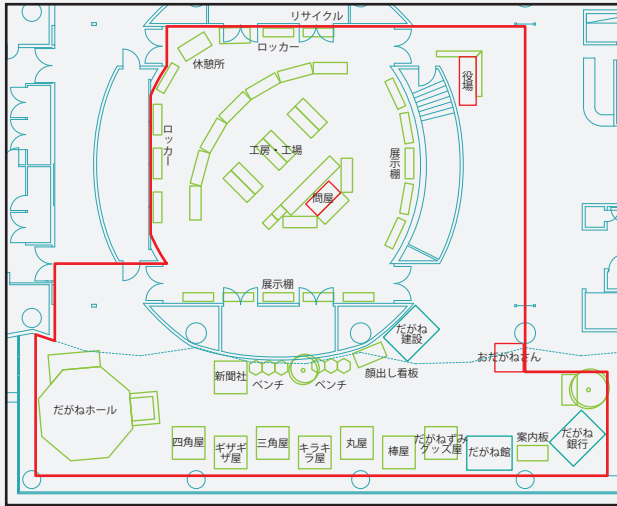
- ・だかねホールの前でまち並みが終わっている。まち並みが長く続くように考える。
- ・まち並みの見え方に変化をつけるのは良い。どう変化をつけるか考える。
- ・大研修室の中を考える。



見直し 8/8,9

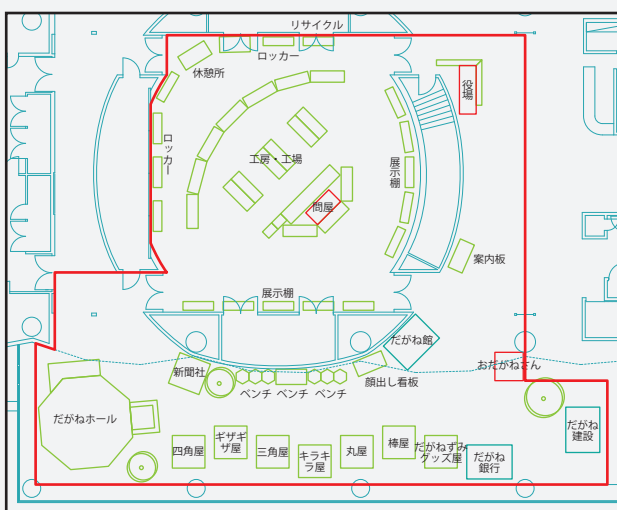
曳家に声援

建物立ち並び、使いた始めた「まち」を見直すWSが行われた。初日、まちの地図を持ちながら「好きなところ」「きらいなところ」「良いところ」「悪いところ」そして「その他」の5つの項目について見て回った。その後、集まって意見を出し合い、問題点と思われるところを洗い出した。翌日、片木先生を迎えてまちの感想を発表した後、問題点の解決に向けて話し合いが始まった。商店街の一軒置ききのセットバックではあまりまち並



見直し前

まちを見直す



見直し後

みに変化が出ていない事から商店街の建物の並び方を波型に変更する案が決まった。またその使い勝手から「だかね建設」「だかね銀

行」「だかね館」の場所を変えることになった。見直し会議終了後、みんなで「曳家」をして、まち並みを変えて「新・だかね

た。ランド2013」が誕生した。曳家＝建物を解体しないまま、移動させること。

そしていつもは殺風景な展示棚が計画され先生から評価されるといふうれしい結果になった。

場 所	子どもたちの計画への片木先生の講評	片木先生の講評をうけてみんなで考えた事
1回目 大研修室 まち並み		・材料屋、問屋は壁際に配置、机は中央に。 ・銀行は東側のくぼみに配置し、回りを空地にする。
大研修室	・だかねランドに来る子がいっぱい使うので、計画が大事。 ・問屋さんの位置をしっかりと考える。	・問屋と材料の棚を囲むようにまわりを机で囲う。 ・ベルギーの広場のようにまわりを紙管の建物で囲む。 ・カフェみたいに机をバラバラに配置する。
2回目 まち並み	・少し単調？もう少し工夫が欲しい。セットバックもお店の性格を考えて配置。 ・本当にアイストップになっているか。 ・銀行は、混雑を意識しすぎて、まち並みから外れてしまっている。 ・おだかねさんの位置に配慮して。	・○△□の形のお店を前に。 ・だかね館の配置、入ってきて正面の窓際。 ・まち並みの一部になるように隣の建物との間に木を植える。 ・おだかねさんを広場の方に向ける。 ・片流れ、平入に統一。
全 体	・赤い線は実際にはないので、それにとらわれすぎないように。	
大研修室	・問屋と材料の棚を背中合わせにして、奥向きと人の流れがスムーズになるように動線を考える。 ・まわりを囲むまち並み(パビリオン)の使い方を考える。 ・3つの出入口の事を良く考える。	・問屋を3つの出入口からアクセスしやすい位置に、ななめに配置して動線の確保。 ・パビリオンを、ショーウィンドウやロッカーにして利用する。
3回目 まち並み	◎おだかねさんの配置が面白い。広場に多くの人が集まりそう。	・だかね建設はまち並みの反対側に建てる。 ・おだかねさんの正面を銀行側に向けることで、広場を賑やかに。 ・だかねホールは、帰りに買い物をしてもらうようにまち並みの一番奥に。
大研修室	◎建物に囲まれた広場みたいになって面白。面白。 ◎材料の棚を真ん中に置いたのは評価する、面白。	
まち並み	◎セットバックは、今までにないやり方で面白が、セットバックのやり方にもう少し工夫ができたかもしれない。 ◎おだかねさんの配置や向き、役割は非常に良い。	
全 体	・この敷地は、はじめから二つ(中と外)に分かれている。中と外、全然違う考え方をしなければいけないので難しい。 ・事前学習で勉強したまち並みの形と、今日考えた機能をうまく一緒にして考える。 ・形と機能の関係をつなげるとどんどん面白くなる。「見直しワークショップ」でもう一度使われ方を見てみよう。	

片木先生と子どもたちのやりとり

